

**情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
衛星・科学業務委員会（第19回）
議事概要**

- 1 日時 平成30年9月3日（月） 15:00～15:35
- 2 場所 総務省 8階 第1特別会議室
- 3 議題
 - (1) 衛星・科学業務委員会（第18回）議事概要（案）について
 - (2) ITU-R SG7関連会合（2018年5月）の報告書（案）について
 - (3) ITU-R SG7関連会合（2018年9月）への日本寄与文書（案）について
 - (4) ITU-R SG7関連会合（2018年9月）の外国等寄与文書の審議表（案）について
 - (5) ITU-R SG7関連会合（2018年9月）の対処方針（案）について
 - (6) その他
- 4 配付資料
 - 資料 衛・科-19-1 衛星・科学業務委員会（第18回）議事概要(案)
 - 資料 衛・科-19-2 ITU-R SG7関連会合（2018年5月）の報告書(案)
 - 資料 衛・科-19-3 ITU-R SG7関連会合（2018年9月）への日本寄与文書(案)
 - 資料 衛・科-19-4 ITU-R SG7関連会合（2018年9月）の外国等寄与文書の審議(案)
 - 資料 衛・科-19-5 ITU-R SG7関連会合（2018年9月）の対処方針(案)

参考資料 1 ITU-R SG7関連会合（2018年9月）の開催案内
参考資料 2 ITU-R SG7関連会合（2018年9月）の日本代表団一覧（予定）
参考資料 3 今後のITU-R SG4及びSG7関連会合の開催予定
参考資料 4 衛星・科学業務委員会 構成員名簿

(※下線部資料については非公開。○印資料については関係者限りの配布。)
- 5 出席者（敬称略、順不同）

主 査：加藤 寧
構成員：藍沢 志津、阿部 宗男、稲村 賢治、大石 雅寿、加保 貴奈、
河合 宣行、佐藤 祐子、平 和昌、徳永 恭子、中道 正仁、
橋本 明、花土 ゆう子、日野 和恵、三谷 政昭
関係者：亀井 雅、三澤 浩昭
事務局（総務省基幹・衛星移動通信課）：豊嶋、菅原、杉本、郷藤、馬田
- 6 議事概要

開会に際し、主査から、構成員に加え関係者も専門的立場から審議に参加するとの説明があった。

(1) 衛星・科学業務委員会（第18回）議事概要について

資料 衛・科19-1に基づき、衛星・科学業務委員会第18回会合の議事概要（案）について事務局から説明があり、特段の意見がある場合は9月7日（金）までに事務局あて連絡することとなった。

(3) ITU-R SG7関連会合（2018年5月）の報告書（案）について

平成30年5月14日（月）から5月18日（金）まで開催されたWP 7A、WP 7B、WP 7C及びWP 7D会合について、資料 衛・科19-2に基づき、事務局から報告があった。

(4) ITU-R SG7関連会合（2018年9月）への日本寄与文書（案）について

次回SG7関連会合（9月18日～9月26日）に向けて提出を予定している日本寄与文書（案）（WP7D：1件）について審議がなされ、これらの寄与文書（案）について、以下の議論の後、承認された。

- ・ 新勧告草案 ITU-R M.[AMRD]に向けた作業文書の変更提案 自律型海上無線機器（AMRD）Group Bからの高調波電波発射による電波天文への干渉防止（4A/J-1）

資料衛・科19-3-1に基づき、三澤氏より説明があった。
主なやり取りは、以下のとおり。

橋本構成員：今回の寄書は、WP7DからWP5Bにリエゾン文書を提出し、現在作成中の勧告作業文書に今回の寄書の内容を反映させるために提出するものと思っているが、WP5Bの勧告作業文書は完成度が低い。WP5Bは来年の5月までに2回開催されるため、2回にわたって作成する可能性もある。もし今回寄書の反映が十分でない場合、来年の会合でWP5Bに直接提案する方法も想定したらよいかと思う。また、議題1.9.1のCPMテキストで、現在の勧告作業文書を参照している部分があるが、その記述は現状のままでよいのか。

三澤氏：検討したい。

大石構成員：今回のWP7D会合は自分が参加する。最初のコメントについて、来年5月のWP7D会合で勧告作業文書に反映されているかチェックできると思う。また、この件について、日本から過去何件か寄与文書を出しており、他の勧告及び報告には反映されている。矛盾のない内容にしてもらうつもりである。CPMテキストに関しては、今回提案している勧告には、高調波についての記述は入っていない。このあたりも確認し、必要があれば、WP7Dの会合の中で提案する。

橋本構成員：WP7Dのリエゾン文書に記載するコンタクトパーソンが、実際にWP5Bの会合に参加し、WP7Dの意見を主張する

ことはインパクトが大きいため、そのような運びになるとよいかと思う。

河合構成員：寄書の3ページから4ページのところで、数値計算例がある。Figure 2で10kmより少し手前のところで、高くなっているところがあり、おそらくここは遮蔽になるかと思う。干渉側にとって不利になるものではないからいいと思うが、このあたりのパラメーターはこれまでのWP7DとWP5Bではどのようにになっているのか。

大石構成員：これまでの経緯では、標高の変化を含めた具体的な地形での詳細な検討は今回が初めてであり、WP5Bにとっても技術的な観点としては良い資料になると思う。

河合構成員：了解した。現地でうまく調整しながら、やってほしい。

事務局：参考として、WP5BとWP7Dの今後の会議日程について、今回のWP7D会合が今年9月19日から25日、WP5B会合が11月5日から16日で、その後WP5B会合が先に開催され、来年の4月29日から5月10日、WP7D会合が5月28日から31日となっている。

(5) ITU-R SG7関連会合（2018年9月）の外国等寄与文書の審議表（案）について

平成30年9月3日時点で公表されている外国入力文書の審議表（案）について、資料 衛・科19-4に基づき事務局から説明があり、以下の議論の後、承認された。

大石構成員：WP7Cに入力されたNo.308の寄与文書だが、WP7DのNo.173にも入力されており、同様の対処でよいと思う。

事務局：了解した。修正する。

大石構成員：修正を要請したのではなく、説明がなかったため、発言した。

(6) ITU-R SG7関連会合（2018年9月）の対処方針（案）について

対処方針（案）について事務局から資料 衛・科19-5に基づき説明をし、対処方針（案）に基づき対処することが承認された。

(7) 今後のスケジュールなど

事務局から、ITU-R SG7関連会合への出席、及び構成員名簿への変更について、適宜連絡していただきたい旨の照会があった。

以上